

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)									
事業名	グローバル人材育成推進事業			担当部局庁	高等教育局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成28年度			担当課室	高等教育企画課			高等教育企画課長 浅田 和伸	
会計区分	一般会計			政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—			関係する計画、 通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤となり、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する体制整備を支援。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	○ グローバルな通用性を涵養し意識を向上させる取組の積極展開 - 留学先の国における日本語指導支援、現地企業インターン等の開発・実施 ○ 教員のグローバル教育力の向上の取組 ○ 学生の留学を促進するための環境整備 ○ 語学力を向上させるための取組 等の取組を実施する大学を公募により国公私立大学を通じて競争的に選定し、重点的な財政支援を行う(定額補助)。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	—	5,000	4,500	4,213		
		繰越し等	—	—	0				
		計	—	—	5000	4,500	4,213		
	執行額		—	—	3,964				
	執行率(%)		—	—	79.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)
	日本人学生の海外留学者数			成果実績		—	—	調査中	120,000
				達成度	%	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択大学が目標設定した学生の海外派遣者数			活動実績 (当初見込み)	人	— —	— —	調査中 (7,796)	— (9,645)
	採択大学が目標設定した外国語カスタンダードを上回る学生数			活動実績 (当初見込み)	人	— —	— —	— —	— (6,473)
単位当たりコスト	93百万円(百万円/件)			算出根拠	単位当たりコスト = 平成24年度執行額(3,934百万円) / 採択件数(42件)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際化拠点整備事業費補助金		4,482百万円	4,194百万円	※対象経費(補助単価)の見直しによる減				
	審査・評価等経費		18百万円	18百万円					
	国際化拠点整備事業費補助金事務費			0.7百万円					
計		4,500百万円	4,213百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。					

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	平成25年6月14日閣議決定「日本再興戦略」において、「2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増」させることを目指すとしているところ、日本人学生の海外派遣を促進し、大学教育のグローバル化のための体制整備を支援する本事業への国民のニーズは高く、国において実施すべき優先度の高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	採択大学の選定にあたっては、各界の有識者によるプログラム委員会及び専門の審査部会を設置。本審査部会において、申請のあった152プログラムを厳正に審査の上、42採択プログラムを決定。補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において支出先・使途を把握するなど、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。不用については、選考等に時間を要したため、採択大学からの交付申請額が予定を下回ったために発生した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	本事業では、構想の策定にあたり、学生の海外派遣者数や外国語力の向上に関する具体的な達成目標を設定し、毎年度、これらの達成状況を把握する等、着実な事業の実施に努めている。事業開始3年目には、有識者による専門の評価部会を設置し、事業の中間評価を実施し、本評価の結果を翌年度以降の補助金の額に反映。事業終了翌年度には、事後評価を実施予定。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行って引き続き事業の適正な実施に努めている。 ・今後、本事業により、豊かな語学力・コミュニケーション能力を身につけ、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材が育成されると共に、これら学生のグローバル化を推進する大学の教育体制の強化が期待される。					
外部有識者の所見						
本事業において採択された42大学がそれぞれ積極的なグローバル人材育成の取組を展開しており評価できる。今後は、グローバル人材育成のために大学が実施する取組について、社会一般に広く知ってもらうための方策を個別の採択大学はもちろん、採択大学全体として検討すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点：本事業は若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤となり、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する体制整備を支援するための補助事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。					
	2. 所見：本事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	執行状況等を踏まえ、積算を見直し、コストを削減することにより、概算要求に▲288百万円反映した。 なお、グローバル人材育成のために大学が実施する取組について、社会一般に広く知ってもらうための方策を個別の大学はもちろん、採択大学全体として検討していく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-0011

文部科学省
3,964百万円

（本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、これら大学に対して補助金を交付する。）

【公募・補助】

A.大学(全40件)
3,934百万円

（外国語能力の適切な評価を行う大学入試の導入、実践的語学力測定試験の開発・実施等、学生の留学を促進するための環境整備等を行う。）

【補助】

B.(独)日本学術振興会
30百万円

（本事業の選定委員会を設置し、本事業の選定に係る審査等の業務を実施。）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.千葉大学			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	プログラムパンフレット・チラシ印刷製本費、ウェブサイト構築業務外注費等	86			
	物品費	学生留学管理システム、e-ラーニング用ソフト、消耗品費等	64			
	旅費	国内旅費(インターンに関する打合せ等)、外国旅費(海外大学との協定締結協議等)	62			
	人件費・謝金	履修アドバイザー職員雇用経費、FD研修担当招へい教員謝金等	47			
		※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。				
	計		260	計		0
	B.(独)日本学術振興会			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費・謝金	プログラム委員会謝金、プログラム担当職員雇用経費等	17			
	その他	印刷製本費、プログラム委員会会議費等	12			
	旅費	国内旅費(プログラム委員会、審査部会)	2			
	物品費	消耗品費	0.2			
	計		30	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	千葉大学	千葉大学 グローバル人材育成推進事業	260	-	-
2	関西学院大学	関西学院大学 グローバル人材育成推進事業	246	-	-
3	東北大学	東北大学 グローバル人材育成推進事業	240	-	-
4	早稲田大学	早稲田大学 グローバル人材育成推進事業	207	-	-
5	中央大学	中央大学 グローバル人材育成推進事業	194	-	-
6	共愛学園前橋国際大学	共愛学園前橋国際大学 グローバル人材育成推進事業	119	-	-
7	明治大学	明治大学 グローバル人材育成推進事業	116	-	-
8	昭和女子大学	昭和女子大学 グローバル人材育成推進事業	116	-	-
9	お茶の水女子大学	お茶の水女子大学 グローバル人材育成推進事業	115	-	-
10	東京医科歯科大学	東京医科歯科大学 グローバル人材育成推進事業	114	-	-

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	グローバル人材育成推進事業の審査・評価等	30	-	-